

STOP 農作業事故 STOP

農作業中の死亡事故は年間300件発生しています。農作業事故は、慣れた場所で慣れた作業中に起こります。下の不適切な例の**CHECK**を確認して万全の体制で臨みましょう。

case 01 TRACTOR トラクター

CHECK
ヘルメット、長袖長ズボンの着用

CHECK
安全フレーム(キャビン)つき
トラクターの使用

CHECK
シートベルトの常時着用

CHECK
あぜに注意

CHECK
石に注意

case 02 TRIMMER 草刈機

CHECK
保護メガネ、ヘルメットの装着

CHECK
防護具、
長袖長ズボンの着用

CHECK
刈刃の点検

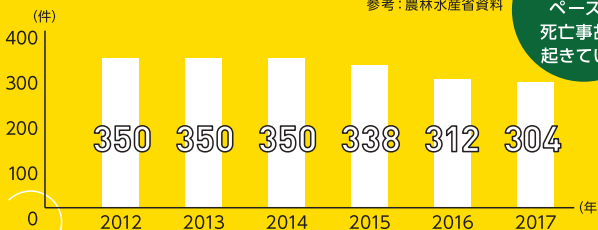
CHECK

- 作業環境**
狭い畦道、急な坂道など危険箇所を減らしましょう。
- 心構え**
急いでいるとき、油断しているときに事故は起きます。一呼吸を。
- 農業機械**
JA農機センターで、点検・整備を万全にしましょう。



農作業死亡事故 発生件数

参考：農林水産省資料



毎年、
およそ1日1件の
ペースで
死亡事故が
起きている

JAグループが安全な農作業をサポート!

01



マシンダウンを防いでほしい。



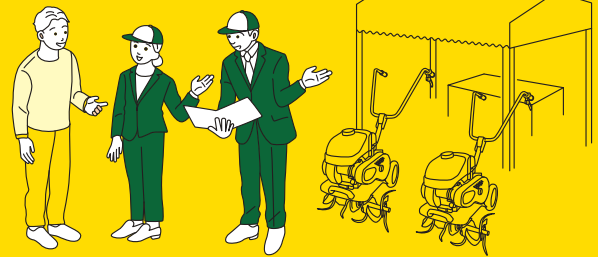
農機専任職員による点検・整備でシーズン中のトラブル・事故を防ぎます。農機のことはお任せください。



02



安心のできる中古農機を紹介してほしい。



JA農機センターでは、中古農機の性能維持・安全確保に取り組んでいます。さらに「中古農機査定士」の取得を進め適正な買取・販売に取り組んでいます。



※中古農機の取り扱いがないJAもあります。

03



安全に長く使うコツを教えてください。

セルフメンテナンス講座・農作業安全講座を開いています。ぜひ、ご参加下さい。



04



もしものときの、備えがほしい。

農業者も労災保険に加入できる制度があります。



※一部のJA・県中央会については取り扱いできない場合があります。

農業機械のことなら、JA農機センターにお任せください。

農家の皆様とのコミュニケーションや情報提供の場としてもご利用いただいております。どうぞお気軽にお越しください。

新3づくり運動 (略称: News) 展開中!

納得(N)の笑顔(e)を見るまで我々はわかりやすい(w)説明・サービス・商品(s)をお届けします。

人づくり 仕組づくり 結果づくり

担当1人1人の資質の向上を目指します。

事例の集積と共有化を行い、皆様へのサービス強化につなげます。

地域No.1の農機センターを目指します。